

取組概要

2023年 1 月 16 日

(あて先)
埼玉県立大学 学長様

候補者 所属学科 社会福祉子ども学科
氏 名 市 村 彰 英

私の取組みは次のとおりです。

1 授業に関して

1) 講義に関して

私の担当する授業は1年生の教養の「人間関係とコミュニケーション」(200人)、1年生専門基盤科目「臨床心理学」(150人)、社会福祉3年生専門科目「司法福祉」(70人)という大勢の受講生が履修する授業で、一昨年度と昨年度まではコロナ禍で三密を避けるため、オンライン授業でしたが、今年度から対面授業ができるようになりました。ただしコロナ禍のため、「人間関係とコミュニケーション」は今年度は受講者数を100人にさせていただきました。

しかし昨年までの2年間のオンライン授業でも積極的にブレイクアウトルームなどを用いて、5~6人のメンバーのグループワークをすると、本学の学生は皆ビデオをオンにして生き生きと語り合う姿勢が見られ、楽しい雰囲気を作ってくれましたが、やはり対面でグループディスカッションができると充実感がさらに増しました。実は私は大学の許可を得て非常勤でもこのようなオンライン授業を行い、このような取り組みを行ってみましたが、ビデオをオンにする学生は僅かしかおりません。この点から観ても、本学の学生の前向きな取組みは素晴らしいものと評価できます。

一昨年度から昨年度まで私はオンラインの授業の中で黒子のように、多くのブレイクアウトルームを巡回し、その様子を見せてもらっていましたが、本年度は全体を見守りながら、学生の熱心な姿を目の当たりにすることができました。

昨年度までもソーシャルディスタンスを取らざるを得ない状況で、オンライン授業の中でも上記のような積極的なコミュニケーションを取ろうとする本学の学生たちの前向きな姿勢に感動しましたが、本年度は対面授業で学生の皆様の熱心な取組みを目の当たりにし、これがリアルな感じだとの実感が得られました。

本年度で定年退職となる私にとっては、とてもありがたい最後の思い出に残る

貴重な講義となりました。

2) 演習やゼミに関して

また「福祉カウンセリング演習」では、一昨年と昨年のコロナ禍の2年間はオンライン上での十数人の学生の授業で、やはりブレイクアウトルームを用い、3グループくらいに分け、多くのロールプレイを行いました。

しかし本年度は、カウンセリング実習室を用い、十数人の学生と家族面接のリアルなロールプレイを繰り返し、それをビデオ撮影し、非常に有意義なディスカッションができました。

またワンウェイ・ミラーを用い、ロールプレイの家族面接にリフレクティングプロセスを用いたフィードバックを用い、学生と共に多くの学びを得ることができました。これはオンライン授業で限界まで挑戦をしてきた上での対面授業でのありがたさを実感できたという結果であったと考えております。

また「社会福祉専門演習Ⅰ、Ⅱ」(3年ゼミ)、「社会福祉専門演習Ⅲ、Ⅳ」(4年ゼミ)では、一昨年と昨年は数人のメンバーで、全員がグループディスカッションに参加する方法として、オンライン上でオープン・ダイアログという方法を用いた進め方を繰り返し、毎回ごく自然に皆がその方法で自主的にコミュニケーションを取る展開となり、楽しく有意義な時間となりましたが、本年度はそれが対面でカウンセリング実習室において可能となり、本来のオープン・ダイアログの有意義なディスカッションを展開することができました。

児童相談所での実習を行った9人の実習生たちの指導についても、事前学習、事後学習共にこの対話方式を用い、有意義なディスカッションが展開できました。

2 ボランティアに関して

私は大学の教員として20年目になりますが、その前に20年間、家庭裁判所調査官という仕事をしておりました。その関係で現在さいたま家庭裁判所少年友の会の学生ボランティアの活動の窓口となっております。

1～3年生の学生たちは20人～30人くらいそのボランティアに参加しており、非行少年と共に別所沼公園の清掃活動などの社会奉仕活動に参加したり、非行少年の学習支援をしてくれています。

日常では体験できない貴重な体験を通して、学生たちは生き生きとその活動に取り組み、有意義な時間を過ごしています。私は家庭裁判所の調停委員や家庭裁判所調査官と連携を取りながら、その枠組みとなる支えを築き、学生たちは安心してその活動に参加できているのだと思います。

もう一つ、越谷児童相談所一時保護所のボランティアの窓口ともなっておりますが、このボランティアはコロナ禍となってからは休止状態となり、少し残念です。遡れば3期生の卒業生が一時保護所の部長と一緒に私のところをお尋ねになり始まったボランティアだったので。卒業生のお陰です。

3 在學生と卒業生の交流会に関して

毎年7月、いろいろな分野で逞しく活躍している卒業生が集う交流会があります。彼らは、私のゼミの1期生から20期生で、この集いは2期生の在学中から続いています。ですから今年で18回目です。毎年欠かさず続けてきましたが、一昨年度はコロナ禍で1回お休みをしましたが、昨年度と今年度はオンラインで開催しました。

卒業生は毎年20～30人くらい集まってくれます。そして在學生では主に私のゼミの3年生、4年生のメンバー10人くらいとボランティアの学生10人くらいが参加し、総勢40～50人くらいで楽しい有意義な時間を過ごしています。在學生の進路の選択にもかなり役立っていると思います。

以上、私の取り組みをまとめさせていただきました。

ところで、私は本年度で定年退職となります。このような充実した教員生活を十分に堪能でき、幸せであったと感じております。長年に亘りご支援いただき、心より感謝しております。ありがとうございました。